

# 令和元年度（2019年度） 第5回北海道地方独立行政法人評価委員会 議事録

1 開催日時  
令和2年3月2日（月）13時52分から14時21分まで

2 開催場所  
北海道庁別館9階 第2研修室

3 出席者

## 【出席委員】

安藤 誠悟 委員長 (弁護士・弁理士)  
安達 陽子 委員 (一般社団法人 中小企業診断協会北海道 常任理事)  
乙政 佐吉 委員 (国立大学法人 小樽商科大学 商学部 教授)  
庄司 正史 委員 (公認会計士)  
苦米地 司 委員 (学校法人北海道科学大学 理事長)  
成田 吉明 委員 (医療法人済仁会 手稲済仁会病院 院長)  
古谷 雅代 委員 (株式会社エクサネット HAL 代表取締役会長)  
山本 一枝 委員  
〔株式会社 ウェザーコック 専務取締役  
一般社団法人北海道中小企業家同友会  
産学官連携研究会（HoPE）共同代表〕

## 【欠席委員】

鈴木 将史 副委員長 (国立大学法人 小樽商科大学 教育担当副学長)  
玉腰 晓子 委員 (国立大学法人北海道大学大学院 医学研究院教授)

## 【事務局】

北海道総務部法務・法人局大学法人室  
室長 村井 篤司、主幹 白鳥 慶一郎、総括主査 上坂 理子  
北海道総合企画部研究法人室  
室長 横田 喜美子、参事 松浦 久栄、主幹 山田 恒一、主査 鹿又 保春  
主査 池島 和明、専門主任 南部 寛子

4 議事

- (1) 【審議事項】 北海道地方独立行政法人評価委員会運営要綱の改正について
- (2) 【報告事項】 地方独立行政法人北海道立総合研究機構第3期中期計画の認可に対する意見について
- (3) その他

5 配布資料

資料1-1 北海道地方独立行政法人評価委員会運営要綱の改正について（案）  
資料1-2 北海道地方独立行政法人評価委員会運営要綱新旧対照表（案）  
資料1-3 北海道地方独立行政法人評価委員会運営要綱（案）  
資料2-1 地方独立行政法人北海道立総合研究機構第3期中期計画の概要  
資料2-2 北海道立総合研究機構第3期中期計画（数値目標）の概要  
資料2-3 北海道立総合研究機構第3期中期計画  
資料2-4 北海道立総合研究機構第3期中期目標・第3期中期計画対照表  
資料2-5 北海道立総合研究機構中期計画新旧対照表

## 6 議事内容

### (1) 議事1について

《審議事項：北海道地方独立行政法人評価委員会運営要綱の改正について》

ア 事務局から資料1-1～1-3により説明。

イ 質疑応答

山本委員) 緊急を要する場合というのは、例えばどのような内容か。

また、土日、祝日が、緊急を要する内容に関係してくるのであれば、必ずノート型パソコンを持ち帰りいつでも対応できるようにしておかなければならぬことか。

事務局) 議決しなければならない〆切までに評価委員の皆様の日程の調整がつかない場合などを想定している。

また、土日の開催は全く考えられないわけではないが、従前の開催状況からそこまでは必要ないかと考えている。土日の開催が必要な場合は、あらかじめ委員の方々へご連絡し、メール等をご覧いただけるご準備をしていただきたい旨事前にお願いさせていただく。

上記以外に意見等はなく、北海道地方独立行政法人評価委員会運営要綱の改正について、案のとおり決定。

### (2) 議事2について

《報告事項：地方独立行政法人北海道立総合研究機構第3期中期計画の認可に対する意見について》

ア 事務局から資料2-1～2-5により説明。

イ 質疑応答

苦米地委員) 道総研の外部資金の獲得とは、どのような資金を指しているのか。

事務局) 資料2-2にあるとおり、公募型研究や受託研究などの資金である。

苦米地委員) 公募型は国や財団のものであり、北海道の産業発展の寄与という道総研の本来の目的のため、道内の企業と密接に関わる研究をしていくべきではないか。

事務局) 公募型であってもそれぞれの研究課題の評価委員会が、道総研の研究として成果が期待されるよう審査する仕組みとなっている。

苦米地委員) 道内の企業に密着したような研究が最近希薄になっているのではないか。

道から業界団体に働きかけるなど、研究費を使えるように是非検討してもらいたい。

事務局) 工業試験場でモノラボやロボラボを作るなどアピールをしているが、PR不足の部分もあるので、それらも含めてしっかりやっていきたい。

上記以外に質問等はなく、地方独立行政法人北海道立総合研究機構第3期中期計画の認可に対する意見についての報告は終了。

### (3) 議事3について

《その他》

ア 事務局から、組織機構改正（大学法人室と研究法人室が統合し、本年4月1日より独立行政法人課が設置されること）についてと今後のスケジュール（次回評価委員会の開催は7月になる見込み）について説明。

イ 質疑応答

質疑なし